

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【公開番号】特開2015-115682(P2015-115682A)

【公開日】平成27年6月22日(2015.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-040

【出願番号】特願2013-254769(P2013-254769)

【国際特許分類】

H 04 N 5/74 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 09 G 5/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/74 Z

G 03 B 21/00 D

G 09 G 5/00 5 1 0 H

G 09 G 5/00 5 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月8日(2016.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を表示する表示手段を備えた画像表示装置であって、

前記表示手段により表示された画像に対応する画像データ内において、指示体の指示する位置を表す位置情報を検出する位置検出手段と、
前記位置情報を応じて前記画像データ内に描画データを生成し、描画させる描画手段と、

前記画像内に1つ以上の補助線を表示させる補助線表示手段と、

前記描画時に前記補助線を表示し、描画終了時に当該補助線を消去する補助線モードを設定するモード設定手段と、

前記補助線モードにおいて、前記描画時に前記補助線表示手段により前記補助線を表示させる制御手段と、

を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

請求項1に記載の画像表示装置であって、

前記モード設定手段は、前記位置検出手段が前記画像データ内の所定の領域に対する前記指示体による指示を検出した場合に、前記補助線モードを開始することを特徴とする画像表示装置。

【請求項3】

請求項2に記載の画像表示装置であって、

前記制御手段は、前記補助線モード開始後、前記指示体による前記描画の開始前に、前記指示体の位置に所定の長さの前記補助線を表示させると共に、前記指示体の移動に合わせて前記補助線を移動させることを特徴とする画像表示装置。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の画像表示装置であって、

前記モード設定手段は、前記描画開始後、前記位置検出手段が前記画像データ内の所定の領域に対する前記指示体による指示を検出した場合、または前記指示体による描画が所定時間なされなかったときに、前記補助線モードを終了することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の画像表示装置であって、

前記制御手段は、前記描画開始後、描画された前記描画データの位置に応じて、前記補助線を平行方向に追加、または前記補助線の長さを延長することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 6】

光源と、前記光源から射出された光を画像データに応じて変調し、投写する画像投写手段とを備えたプロジェクターであって、

前記画像投写手段により投写された投写画像内において、指示体の指し示す位置を表す位置情報を検出す位置検出手段と、

前記位置情報に応じて前記投写画像に描画データを生成し、描画する描画手段と、

前記投写画像内に 1 つ以上の補助線を表示させる補助線表示手段と、

前記描画時に前記補助線を表示し、描画終了時に当該補助線を消去する補助線モードを設定するモード設定手段と、

前記補助線モードにおいて、前記描画時に前記補助線表示手段により前記補助線を表示させる制御手段と、

を備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項 7】

画像を表示する表示手段を備えた画像表示装置の制御方法であって、

前記表示手段により表示された画像に対応する画像データ内において、指示体の指し示す位置を表す位置情報を検出す位置検出ステップと、

前記位置情報に応じて前記画像データ内に描画データを生成し、描画させる描画ステップと、

前記画像内に 1 つ以上の補助線を表示させる補助線表示ステップと、

前記描画時に前記補助線を表示し、描画終了時に当該補助線を消去する補助線モードを設定するモード設定ステップと、

前記補助線モードにおいて、前記描画時に前記補助線表示ステップにより前記補助線を表示させる制御ステップと、

を備えることを特徴とする画像表示装置の制御方法。